

都市再生整備計画(第2回変更)

よもがわ ちく
蓬川地区

ひょうごけん あまがさきし
兵庫県 尼崎市

平成18年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	ひょうごけん 兵庫県	市町村名	あまがさし 尼崎市	地区名	よもがわ ちく 蓬川地区	面積	11.4	ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度	
交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度	

目標

- 大目標：地域の自然を活かし、個性豊かで賑わいのあるまちなかの創造
- 目標1：良好な居住環境の形成による中堅ファミリー層の誘導と定着による賑わいの創造
- 目標2：多様な世代が交流できるよう、公共施設の整備による交通利便性の向上と、バリアフリー化による高齢者等への配慮
- 目標3：学校林及び蓬川緑地等既存自然資源を活かした地域住民による継続的な環境改善活動の醸成
- 目標4：ワークショップの開催等による古くからの住民と新たに住民となった人々による地域コミュニティの形成促進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、市域南部の阪神本線の沿線に位置する地区である。
- ・本地区の半径500mの徒歩圏内には、阪神本線出屋敷駅や尼崎センタープール前駅が位置し、多くの生活利便施設が分布している。
- ・本地区は、蓬川公園や蓬川緑地などをはじめとし、公園・緑地が数多く分布する自然環境に恵まれた地区である。
- ・本地区内にある明倫中学校、成徳小学校、市営琴浦住宅は、基盤整備がなされておらず、鉄道駅へのアクセスや地区に隣接する通所介護施設への利用が不便になっている。
- ・尼崎市の人口は、昭和46年の約55万3千人をピークに序々に減少傾向が続き、平成16年現在約46万2千人となっている。
- ・人口の分布は、本地区を含む本市南部において人口減少が著しい。さらに、年齢別人口構成でも、本地区を含む本市南部において年少人口の割合が低く高齢人口の割合が高いなど、少子高齢化が進んでいる。
- ・本市では少子化による学童数の減少にともない、平成14年1月に策定された「小・中学校の適正規模・適正配置推進計画」により、統合される小・中学校は、公共施設への転用や敷地の売却による活用方策の検討が位置づけられている。
- ・本地区内の東側に位置する明倫中学校は、平成16年度末での統合が決定し、これに隣接する成徳小学校についても、統合が検討されているところである。
- ・本地区西側に位置する市営琴浦住宅は、昭和27年から昭和36年に建設された住宅で市営住宅の中でも特に老朽化が著しく、また居住環境が悪化しており、長年にわたり居住者から建て替え要望が出されている。
- ・本地区では、本年9月から周辺地域代表及び公募市民からなる明倫中学校跡地活用方策懇話会や市民参加による明倫中学校跡地活用意見交換会を開催し、本市及び地区の発展等に資する跡地活用方策について検討、意見交換を進めてきており、市民参加によるまちづくりの機運が高まりつつある。

課題

- ・本地区は、人口減少が続く本市の中でも特に人口減少の著しい地区で人口定着、誘導が課題となっている。また、本地区は、市内でも年少人口の割合が低く高齢人口の割合が高いなど、少子高齢化が進んでいる地区であるため、中堅ファミリー層の誘導、定着及び地域コミュニティの形成促進が課題となっている。
- ・本地区西側に位置する市営琴浦住宅は、老朽化が著しくまた居住環境が悪い住宅であることと、さらに居住者の高齢化が進んでいることから、早急な建て替えが課題である。
- ・本地区は、本市南部では希な河川緑地、学校林等による緑の多い地区であり、これらを活かしたアメニティ性の高い地域づくりを行うことが必要である。
- ・本地区に隣接する区域には、尼崎競艇場利用者の駐車場が散在していることから、この車両が住宅地内に入り込み、交通安全上の問題もあり、この解決への寄与も本地区の課題である。
- ・本地区の東側の商業施設は、その活性化が望まれている。

将来ビジョン(中長期)

- ・本市では、将来予測される人口の都心への回帰に対応し、人口減少への歯止めをかけるため、定住化促進を目標としている。
- ・特に本地区周辺は、市域内においても人口減少が著しく、少子高齢化が進んでいる地区である。このため、地域の活性化を図るべく、民間活力等を活用した中堅ファミリー層の誘導や定住化を図り、良好な住宅地としての整備を推進する。また、バリアフリー化などによる高齢者等に配慮した公共施設の整備を行い良好な居住環境の形成を図る。
- ・蓬川緑地、学校林の活用、公園の整備、道路、住宅地内の緑化推進などにより地域全体としてアメニティ性の高いまちづくりを行う。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
中堅ファミリー層の増加率	%	地区人口に対する、新たに居住する中堅ファミリー層の比率	中堅ファミリー層の増加はまちの賑わいに寄与するため	29.5	16	45.0	21
車イス利用者や高齢者の来街者数	人/日	公共施設の整備によって増加する高齢者等の来街者数	高齢者等の来街者数の増加は、バリアフリー化の達成度や交通利便性の向上の程度が客観的に示されるため	40	16	80	21
環境改善活動へのボランティアの参加者数	人	花いっぱい事業への参加者数	環境改善活動への住民の参加を促すことは、住民間の連帯感を高めるとともに、我がまち意識の高揚につながるため	0	16	100	21
ワークショップ等まちづくり会合数	回	ワークショップ等開催回数	住民のまちづくりへの参加を促すことは、住民間の連帯感を高めるとともに、我がまち意識の高揚につながるため	0	16	4	21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 中堅ファミリー層を主体とした、多世代型の集合住宅地の整備促進及び市営住宅の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明倫中学校周辺地区は、市域内において、人口減少及び少子高齢化が進んでいる地区である。このため、市外からも人を呼び込むための魅力ある住宅地づくりを行い、地域の活性化に寄与する中堅ファミリー層の定住化を促進する必要がある。 ・一方、将来予測される都市への人口回帰を視野に入れた場合、駅直近の利便性の高い本地区においては、高齢者向け住宅や2世帯向け住宅などに対する需要も高まることが予測される。 ・このため、多様な世代が生活し、世代交代後も住み続けることができるような良好な住宅地として整備を図る。 ・また、老朽化が著しい市営琴浦、西難波、武庫川住宅の集約建替え用地として明倫中学校跡地を活用することにより、現入居者の居住環境の改善を図るとともに、多様な世代、多様な世帯が共存する住宅地を目指す。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路(市道新設) ・下水道(下水道新設) ・公営住宅等整備((仮称)明倫住宅新設) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(公営住宅等整備関連事業) ・地域創造支援事業(給水施設新設事業) ・地域創造支援事業(補助対象外事業) ・事業活用調査(事業推進・事業効果等の検討・検証調査) ・事業活用調査(民間誘導方策検討調査) ・事業活用調査(跡地利活用検討調査)
<p>整備方針2: 周辺にある生活利便施設を結び安全、快適な自転車・歩行者動線の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明倫中学校周辺地区は、徒歩圏内に出屋敷駅、尼崎センタープール前駅があり、交通利便性が高く、また、周辺にはスーパー、コンビニ、病院・診療所などの生活利便施設も立地している。さらに、大庄地区会館や大庄体育館、蓬川公園等のコミュニティ施設も分布している。このような生活利便施設、コミュニティ施設を活かした快適で利便性の高いまちづくりを行う。 ・特に、地区内には、成徳小学校西側にある遊歩道や、蓬川緑地内の遊歩道などがあるため、これらを活用した自転車・歩行者動線の整備により、尼崎競艇場利用者による一時的な交通量増加の処理、各施設へのアクセスの利便性、安全性の確保を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路(市道新設) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(公営住宅等整備関連事業) ・地域創造支援事業(補助対象外事業) ・事業活用調査(跡地利活用検討調査)
<p>整備方針3: 学校林及び蓬川緑地等既存の緑環境を活かした、緑陰のあるまちづくりの推進と地域住民による環境改善活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明倫中学校周辺は、蓬川公園、蓬川緑地等や明倫中学校及び成徳小学校内外縁部にある高木等の緑地など、緑環境に恵まれた地区である。 ・今後もこのような緑環境を保全・活用することにより、ヒートアイランド現象を抑制し、小鳥のさえずりが聞こえる緑陰のあるまちづくりを実施していく。 ・緑環境を良好な状態で保全するため、地域住民による継続的な環境改善活動を醸成し、住民間の連帯感を高め我がまち意識の高揚につなげる。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園((仮称)明倫公園新設) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(花いっぱい事業) ・まちづくり活動推進事業(専門家の派遣、ワークショップ開催等)
<p>整備方針4: 地域コミュニティの活性化と形成促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な世代が生活し、世代交代後も住み続けることができるような良好な住宅地として整備するためには、地域コミュニティの形成が必要不可欠である。そのために古くからの住民と新たに住民となった人々が交流できる場やその仕組み作りが大切になってくる。 ・このため、新たに整備される公園など公共施設の整備を通じて、古くからの住民と新たに住民となった人々の交流を行い、地域コミュニティの活性化と形成促進を目指す。 ・結果として、住民間の連帯感が高まり我がまち意識の高揚につなげる。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園((仮称)明倫公園新設) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(花いっぱい事業) ・まちづくり活動推進事業(専門家の派遣、ワークショップ開催等)
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○琴浦住宅跡地の活用方針の検討 明倫中学校の西側に位置する、市営琴浦住宅の跡地の活用策については、尼崎競艇場の開催時に周辺の道路混雑を緩和するための駐車場の活用をはじめとして地域活性化に資する跡地活用策を検討する。 ○まちづくりに向けた地元の熱意 ・本年9月より本地区周辺地域代表及び公募市民からなる明倫中学校跡地活用方策懇話会や市民参加による明倫中学校跡地活用意見交換会を開催し、本市及び地区の発展等に資する跡地活用方策について検討、意見交換を進めてきた結果市民参画によるまちづくりの機運が高まりつつある。 ・市内においても、横断的な組織で構成された、検討会議により検討を進めている。 	

